

校歌作詞者は保健室の先生

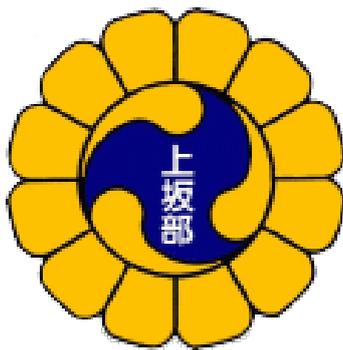
校歌の作詞者「開発 好子」は、当時の上坂部小学校の養護教諭。つまり保健室の先生です。当初は、正式には校歌ではなく「上坂部小学校の歌」とされました。各種の学校行事で歌われていくうち、校歌として定着しました。

注目すべきは、当時は「職員と児童の二部合唱」、あるいは、「職員、児童、保護者の三部合唱」で歌唱されていたことです。卒業式なども、それぞれのパートに分かれて歌い、終わりの小節は全員で合唱したと聞き及びます。

学校職員や児童の顔ぶれは時代と共に変われど、校歌は変わることなく今後永代に歌い継がれていくことでしょう。歴史をたどれば、そこには刻む人々がいて、まつわるエピソードがある。学校史もまたしかりです。



予防接種の様子 右が開発先生



1. 巴は水のわくすがた
うずまくカーぱいに
すくすくのびて育ちます
強い元気なみんなです
2. 白菊黄菊咲きそろう
あふれるかおりやさしさを
心にこめてまなびます
清い明るいみんなです
3. 工場の町につづく海
遠くに光りそのはての
世界の友をおもいます
希望にみちたみんなです